

ち た は ん と う が れ き ふ

知多半島瓦歴譜



美浜町海道田遺跡「蓮華文軒丸瓦」個人蔵

2019年

1月5日[土]～3月10日[日]

連動企画「知多半島古瓦講座」

講師 カヒハラヨシタツ 梶原義実さん (名古屋大学大学院人文学研究科准教授)

日時 第1回「古代の瓦」2月23日(土)
 第2回「中世の瓦」3月3日(日)
 第3回「近世の瓦」3月9日(土)
 3回ともに10:00～11:30

会場 資料館2階講座室

参加費 無料(予約不要)

瓦とは粘土を一定の形に固めて焼いたもので主に屋根をふくのに用いられ、埴(せん)や敷瓦なども含まれます。

日本の屋根材は瓦の他に草、樹皮、金属など様々な素材があります。しかし、日本建築史の中では、瓦は特殊な素材で、近代以前は寺院や城郭などの特別な建物に使用されています。瓦葺の建物は当時の宗教・政治権力の中心的施設であり、軒先瓦や鬼瓦が有する文様があり、瓦は実用性とともに関心性や装飾性に富んでいます。

今回の企画展では古代から中世に生産された知多半島の瓦を展示します。また連動企画として、瓦の歴史講座を開催し、日本の瓦の歴史や制作技術、知多半島の瓦の魅力を通して地域を学びます。

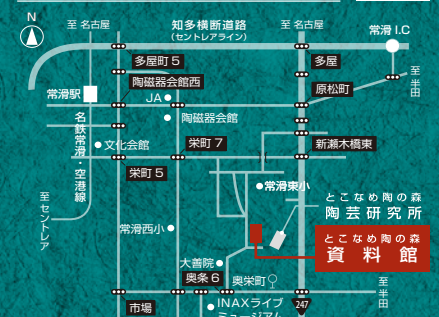
とこなめ陶の森 資料館

常滑市瀬木町4丁目203番地

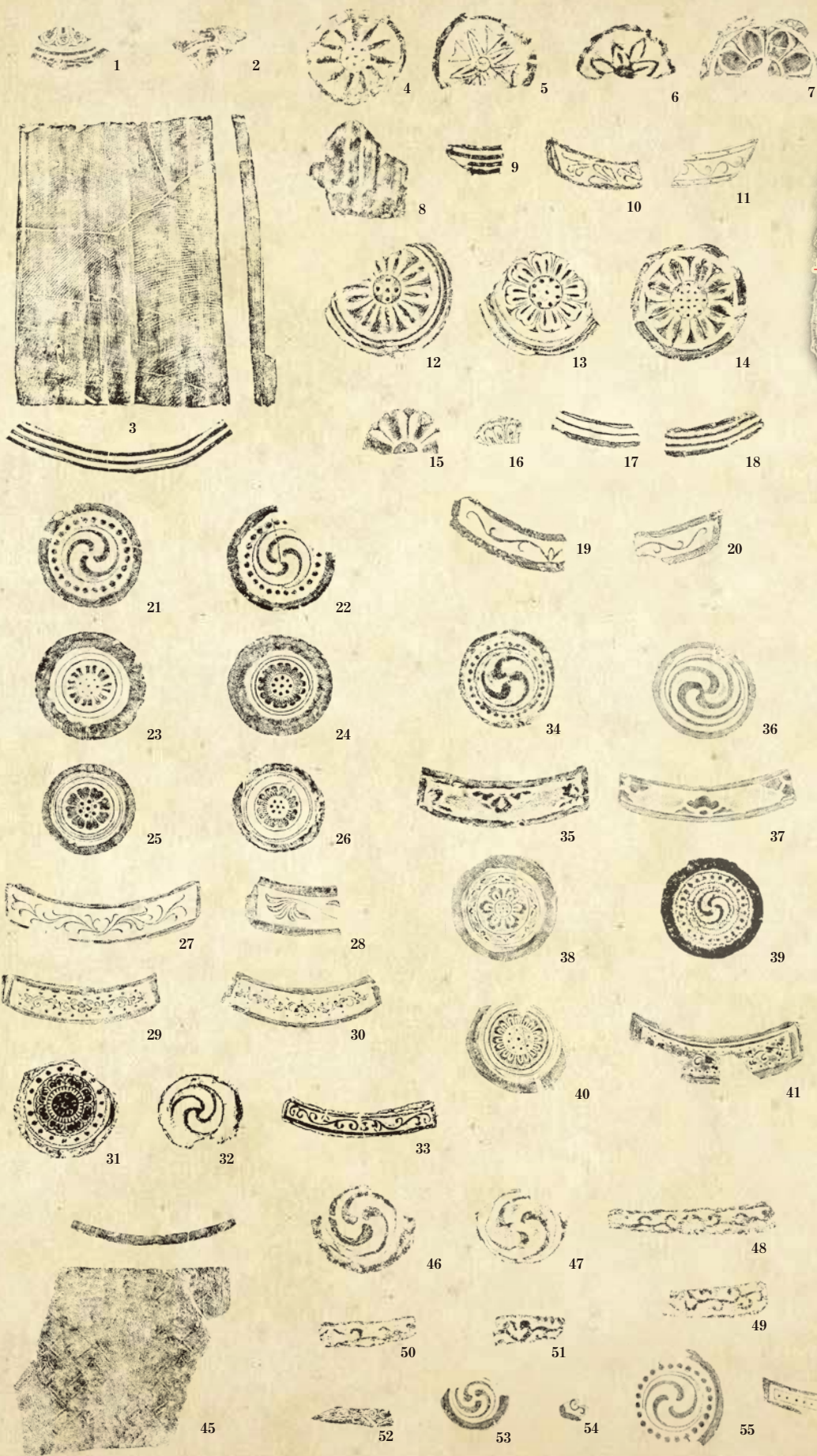
TEL: 0569-34-5290

FAX: 0569-34-6979

www.tokoname-toumori.jp



知多半島古瓦早見図



● : 瓦を出土した古窯址
 ◆ : 主な消費遺跡
 ▲ : 古代瓦に関連する参考遺跡
 ※赤は今回展示されています

1~3: トドメキ遺跡、4~11: 知多市法海寺遺跡、12~20: 美浜町海道田遺跡、21~30: 東海市社山古窯、31: 阿久比町板山古窯、32: 阿久比町比沙田古窯、33: 美浜町蛭谷古窯、34: 半田市大高山古窯、35: 美浜町西平井古窯、36~37: 美浜町滝谷古窯、38: 半田池周辺、39: 常滑市濁池北古窯、40~41: 常滑市濁池西古窯、42~44: 常滑市上白田古窯、45: 知多市刀池古窯、46~52: 美浜町午池古窯、53~54 武豊町ウスガイト遺跡、55~56: 東海市畑間・東畑遺跡、57~58: 美浜町大御堂寺



— 瓦の名称 —



のきまるがわら かいどうだいせき
軒丸瓦 海道田遺跡 (美浜町教育委員会蔵)



のきひらがわら にごりいけみなみこよう
軒平瓦 濁池南古窯 (個人蔵)



まるがわら じょうはくだこよう
丸瓦 上白田古窯 (とこなめ陶の森蔵)



ひらがわら・のしがわら じょうはくだこよう
平瓦・鬩斗瓦 上白田古窯 (とこなめ陶の森蔵)



れんげもんのきまるがわら やしろやまこよう
蓮華文軒丸瓦 社山古窯 (個人蔵)



ともえもんのきまるがわら やしろやまこよう
巴文軒丸瓦 社山古窯 (東海市教育委員会蔵)